

## 乗鞍岳の火山活動解説資料（平成 23 年 11 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。  
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図 2）

乗鞍高原（乗鞍岳の東北東 7 km）に設置にしてある遠望カメラでは、悪天候のため不明の期間がありますが、その他の期間は山頂部に噴気は認められませんでした。

#### ・地震活動（図 3、図 4※）

8 日 8 時 17 分及び 9 時 54 分に乗鞍岳の北東約 6 km 付近を震源とするマグニチュード<sup>1)</sup>2.8 及び 3.0 の地震が発生し、岐阜県高山市でそれぞれ震度 2 を観測しました。その後、13 日にかけて同領域で地震が一時的に増加しましたが、それ以外の期間では発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。

火山性微動や低周波地震は観測されませんでした。

1) マグニチュードは地震の規模を示します。資料中のマグニチュードは暫定値で、後日変更することがあります。

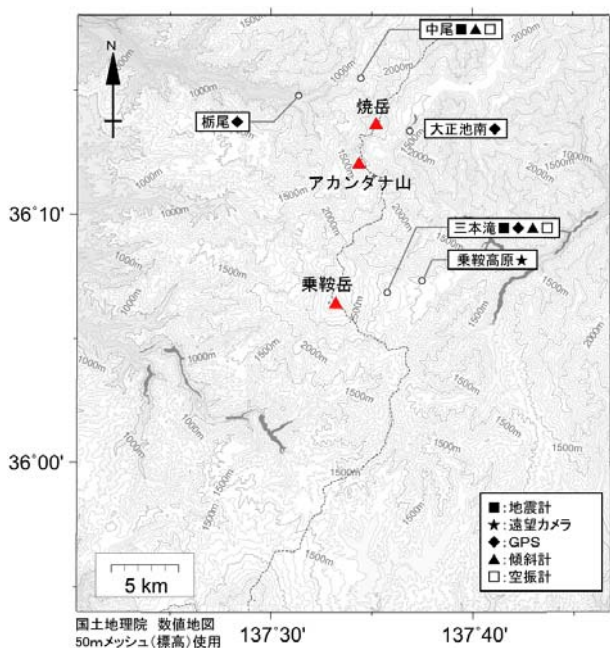


図 1 乗鞍岳 気象庁の観測点配置



図 2 乗鞍岳 山頂部の状況  
(11 月 26 日 乗鞍高原遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 12 月分）は平成 24 年 1 月 10 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、京都大学、名古屋大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2 万 5 千分 1 地形図』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

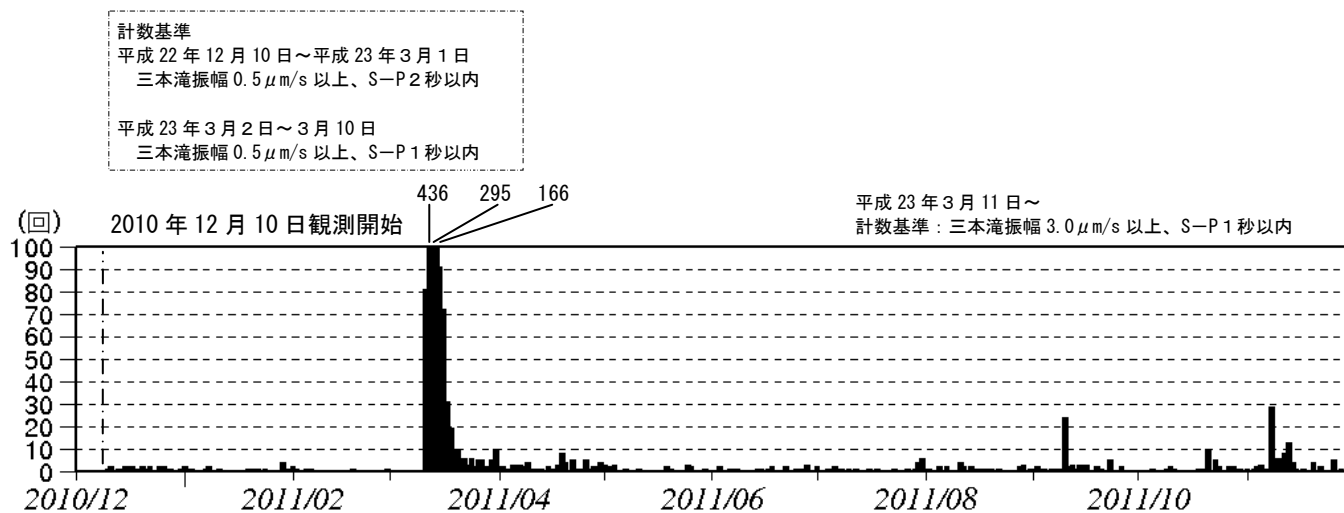


図3 乗鞍岳周辺の日別地震回数 (2010年12月10日~2011年11月30日)

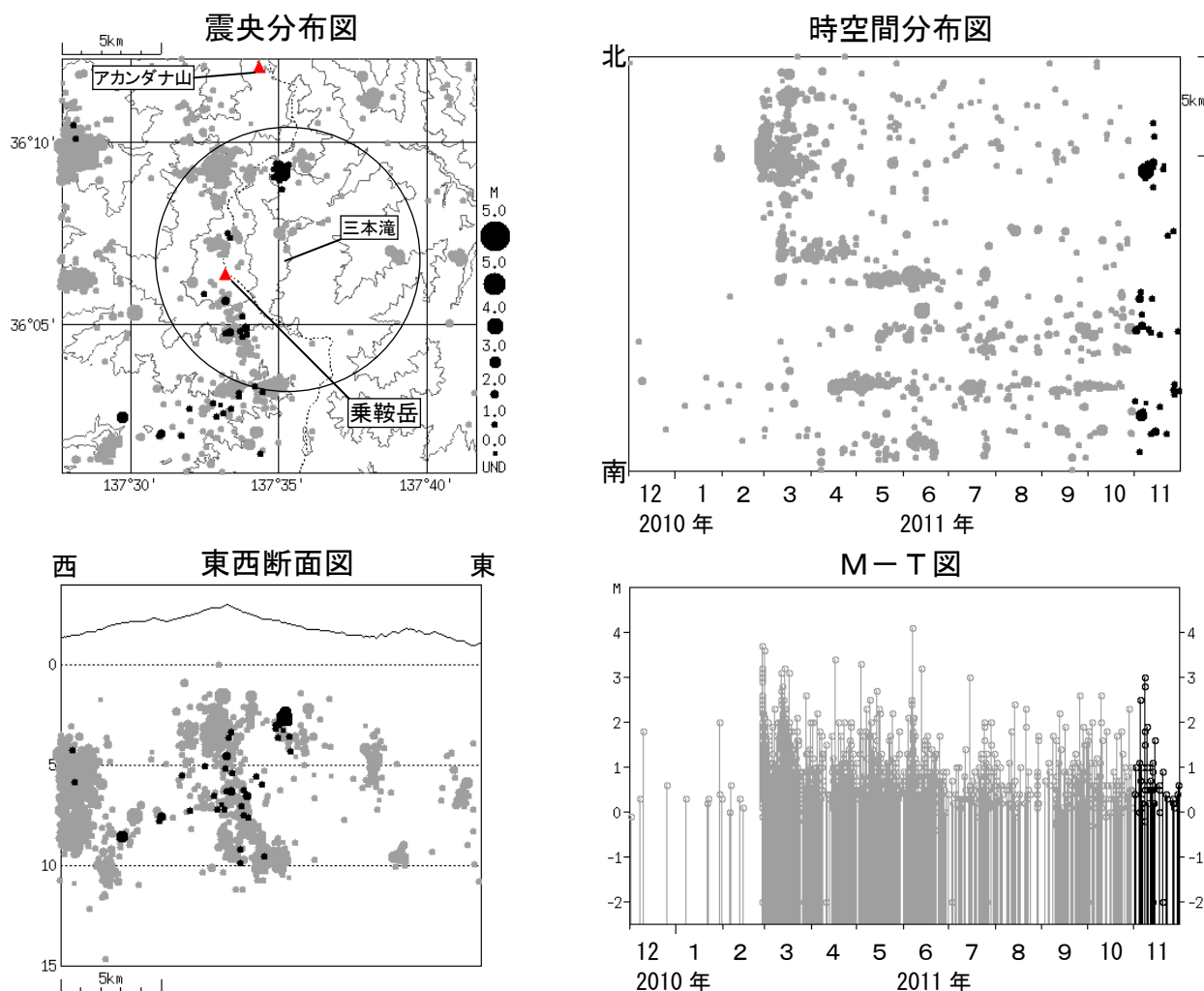


図4※ 広域地震観測網による乗鞍岳周辺の地震活動(2010年12月~2011年11月)

- : 2010年12月1日~2011年10月31日
- : 2011年11月1日~11月30日
- 震央分布図中の円は図3の計数対象地震(三本滝でS-P時間1秒以内)のおよその範囲。
- M(マグニチュード)は地震の規模を表します。
- 3月~5月分は一部未処理の期間があります。
- 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。